

調査結果の概要

区 分		平成 22 年調査	平成 17 年調査	増減数	増減率
村上市	人 口	66,445	70,705	4,260	6.0
	世帯数	22,048	22,321	273	1.2
新潟県	人 口	2,374,922	2,431,459	56,537	2.3
	世帯数	838,922	819,552	19,370	2.4
全 国	人 口	128,056,026	127,767,994	288,032	0.2
	世帯数	51,951,513	49,566,305	2,385,208	4.8

1. 概 要

平成 22 年 10 月 1 日を基準日として実施された今回の「平成 22 年国勢調査」では、人口が 66,445 人、世帯数が 22,048 世帯であった。

これを前回の平成 17 年国勢調査と比較すると、人口では 4,260 人（6.0%）の減少、世帯数でも 273 世帯（1.2%）減少し、どちらも減少する結果となった。

今回は「人口減少社会となって初めての国勢調査」と言われていたが、前回調査と比べ、日本全国では、人口で 0.2%増加、世帯数で 4.8%増加とどちらも増加していた。しかし、新潟県全体では人口が 2.3%減少し、世帯数は逆に 2.4%増加している。

村上市は、新潟県にある 30 市町村の中で、人口の多い順から第 8 位、世帯数は第 9 位となっている。新潟県の発表によれば、村上市は「県内の人口減少数の大きい市町村」の順位で長岡市の 5,738 人、佐渡市の 4,622 人に次いで、4,260 人で第 3 位となっており、県内市町村の中でも人口減少が顕著であることがうかがえる。

2. 人 口

平成 22 年 10 月 1 日現在の人口は 66,445 人で、前回調査より 4,260 人（6.0%）も減少した。村上市全体の人口は、大正 9 年調査時から昭和 30 年調査時まで増加していたが、昭和 35 年調査時から継続して減少している。その中でも今回の減少数は、これまで最大だった昭和 35 年調査時の 3,962 人（4.2%）の減少を超え、過去最大となった。

参考までに、平成 17 年から平成 21 年までの過去 4 年間の自然動態を見ると、死亡数 3,649 人が出生数 1,713 人を大きく上回り、1,936 人（年平均 484.0 人）の自然減となっている。

また、同じく平成 17 年から平成 20 年までの過去 4 年間の社会動態を見ると、転出数 7,163 人が転入数 5,617 人を大きく上回り、1,546 人（年平均 386.5 人）の社会減となっており、自然動態、社会動態ともに人口減少の要因となっていることがうかがえる。

地区ごとで比較すると、全ての地区で減少しているが、神林、朝日、山北の減少率が大きく、神林地区で 748 人（7.4%）、朝日地区で 866 人（7.5%）、山北地区では 732 人（10.0%）と地区の 1 割近い人口が減少していることになる。